

仕事と学び複合施設 イコウエルすみた

仮設住宅を中心とした
記録と記憶の継承
×

新しい働き方へのチャレンジを
応援します



東日本大震災時に、住田町は木造一戸建ての仮設住宅を建設し、多くの被災者の方々に利用いただきました。

2020年に最後の入居者が退去されその役目を終えましたが、仮設住宅を取り巻く後方支援等を記録として残すため仮設住宅を1棟整備するほか、仮設住宅の部材をリユースし、リモートワークやオンラインを活用した研修施設や宿泊体験できる施設を整備することとなりました。

- ・ 仮設団地跡地の活用及び、仮設住宅の部材を可能な限り利活用することで、東日本大震災の記録と記憶を継承していきます。
- ・ 町外人材を積極的に受け入れ、リモートワークを活用した新しい働き方を町内に浸透させるとともに、町外人材の活動拠点となるよう取り組みます。
- ・ これまでになかった講座やイベントなどを、オンライン環境を積極的に活用して取り組むことで若者世代を中心とした新たな学びの場を提供していきます。



- 東日本大震災の際に建設した仮設住宅の部材を約50%再利用
- 防災や災害支援を学ぶ機会の提供
- 充実した通信環境のもと、リモートワークを中心にしたサテライトオフィスとしての提案
- 様々な人たちとのつながりによる町の活性化への取組